

# ニュースレター No.10

発行：2001年9月

## ◆10月28日(日) 調布の未来をさぐるワークショップを開催します！

ちょうふ環境市民懇談会（以下、懇談会）が主催する調布の未来をさぐるワークショップが開催されます。

懇談会は、その理念である「自然と共生する調布」を目指すため、パートナーシップを基本とした環境保全活動（プロジェクト）やそれに伴う情報交換（連絡会議）を実施してきました。そして、これまでの活動を通して得られた知見をもとに2002年2月23日(土)に行われる全体会で、調布市や市民などに対して提言を行います。

今回のワークショップは、その提言をまとめるためのいわば中間的な意見交換の場として開催します。調布の未来を考えていくため、より多くの人の「未来」を集めていきたいと思えます。そしてその「未来」を達成するためにどんな課題が待ち受けているか？その課題を解決するには何か必要か？考えていきたいと思えます。（これまで話し合ってきた内容は、議事要旨をご覧ください。）

## ◆サマーキャンプ開催！

夏休み最後の休日に野川・里山探険隊のサマーキャンプが開催されました。小学生、中・低学年を中心に23名の子ども達が集まり、夏休みの思い出づくりを行いました。

探険隊は何度か山周辺で実施していますが、夜のかに山は初めての子もいたようで、またとない貴重な一晩だったようです。詳しい実施記録を活動報告に載せています。

## ◆お気づきですか？

先日の台風の影響で花火大会が中止になったことは、残念に思っている人が多いことでしょう。しかし、生き物たちにとってはどうでしょうか？多摩川の虫や植物、鳥など多くの生き物達は、人の足に逃げ惑い花火の音に驚くことはないのです。台風様々でしょう。ただし、増水で流されていなければの話ですが、もう秋の虫たちが鳴いています。秋の夜長を楽しむためにちょっと多摩川まで…

少し話は変わりますが、このニュースレターも10号となりました。ということは、昨年の設立シンポジウムから10ヶ月、10回もの連絡会議を行っていることとなります。まだまだ参加者が少なく、知名度も低い会議です。調布の自然に関心のある方ならどなたでも参加できるわきあいあいとした会議です。ぜひ一度参加して下さい。（次回連絡会議は9月19日(水)です）

### ●未来の調布の自然をさぐる●

日にち：10月28日(日)

時間：14:00～17:00(予定)

場所：調布市市民センター 4F

参加費：無料

内容：①パートナーシップで行われている環境保全活動の紹介  
②ワークショップ  
③提言づくりに向けて  
④ディスカッション



サマーキャンプ 参加者全員で記念撮影

### 一内容一

ワークショップのお知らせ  
調布市内での活動報告  
連絡会議議事要旨  
イベント情報

## 調布市内での活動報告!

### 野川・里山探検隊

探検隊の最大イベントであるサマーキャンプが、夏休み最後の土日となった25・26日にわたって「深大寺自然広場 かに山」で開催されました。元気いっぱいな子どもたち23人が集まり、楽しいキャンプを体験しました。しかし、なかにはホームシックにかかった子どもも。目的は雑木林でキャンプを体験することにより、雑木林を身近に感じてもらうことでしたが、午後2時からみんな協力してのテント設営、料理に使う焚き木集め、草笛づくりなどで十分に目的は達成されたと思います。都立農業高校神代農場の小池さんの指導による草笛づくりでは、次々に隊員の口から笛が鳴り出し大成功でした。夏休みの工作の宿題になった隊員もいたかもしれません。ちょっと痛い目にあった隊員もいましたが。夜の帳が下りた暗い「雑木林探検」は、いい肝だめしになったようでした。テントごとのグループで食事の準備もしました。解散時、隊員は口々に楽しかったことを報告しあい、再開を約束しました。サポーターとして参加された皆さんありがとうございました。



朝食のパン焼き

●次回探検隊予定 秋の虫が鳴く多摩川探検 10月下旬

### 雑木林塾 第1回運営会議開催!

7月28日(土)雑木林塾の開校式が行われ、調布の原風景である雑木林を復活させるために塾を運営していくことが話し合われ、第1回目の運営会議が8月23日(木)15名の参加者で開催されました。

第1回目ということで参加者全員で自己紹介を行った後、開校式で話し合われた内容を振りかえりました。開校式では、意見提案カードをもとにどんな取り組みから始めていくか、参加者を集めるためどんな工夫が必要かなどについて話し合われました。これらの意見をもとに運営会議では、座学をしっかりとやる、今の時代に合った雑木林について創造していく、楽しいイベントを開催する、モデル地域をつくるなど、今後の取り組みについての意見が出されました。

この雑木林塾では、10年先の調布の林を育むために勉強会や実習など様々な取り組みを行っていきます。そして雑木林塾の運営にはどなたでも参加できます。次回は、さらに塾の具体的な取り組みについて意見交換していきます。

●次回運営会議 9月10日(月) 18:30~

市役所 6F 図書室

### 環境モニター活動

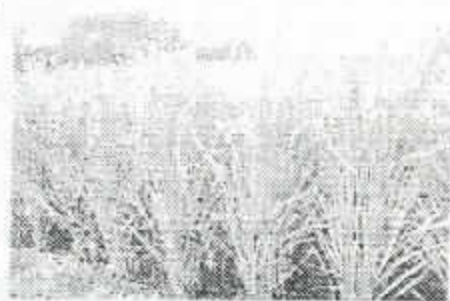
今年度は、環境マップを活用した活動を行っています。その一環として、季節毎の調布の特徴的な自然を調べていくことになりました。今回のテーマは、秋の野草です。セイタカアワダチソウ、キツネノカミソリ、ヒガンバナ、ツルボ、その他珍しい野草の分布を通して、調布の自然の状態をさぐります。調査は、どなたでもできるように調査票を準備しました。対象となる野草を発見したら、調査票に記入し環境保全課まで郵送下さい。また、調査票は環境部環境保全課で配布しています。たくさんの情報をお待ちしています。

●次回連絡会 9月3日(月) 18:30~

### ちょうふDE田んぼ日記その4「今年は何俵取れるやら」

8月20日頃には穂が出そろったようです。8月に入ってから日照不足が少し気になりますが、全国的には豊作ということですから、「捕らぬタヌキの皮鼻用」を試みることにしました。実は、今年は少し収穫量を上げてみようということで、植える苗の株数を増やしました。1列30cm間隔を25cmに、列間隔25cmを20cmにして、株数で1.5倍になります。単純計算では、昨年が約2.5俵ですから、今年は3.75俵(約225Kg)となります。反収12.5俵にも。ほんとかな?

(野川で遊ぶまちづくりの会 尾辻)



# 第10回連絡会議 議事要旨

## ●第10回連絡会議の議題

- ① プロジェクト等の情報交換
- ② 課題抽出ミニワークショップ
- ③ ワークショップの内容検討
- ④ その他

日時 平成13年8月16日(木)  
18:30~20:30  
場所 調布市役所4F 第4会議室  
出席者 10名

## ◆連絡会議で話し合われた内容は…

### 1. プロジェクト等の情報交換

連絡会議はおもに情報交換の場として開催されています。このニュースレターの活動報告やイベント情報は、その時のものをまとめたものです。

### 2. 課題抽出ミニワークショップ



- ・赤い付せんと緑の付せんを準備して、それぞれに調布の良いところ、課題を5枚ずつ記入。(10人の参加者でそれぞれ50枚の意見を出した。)
- ・模造紙に良いところと課題と一緒にグループ化を行いキーワードを検討した。
- ・グループ化で出てきたキーワードとしては、林、水、湧水など自然のことや市民、行政、文化などまちづくりの話まで様々。
- ・これらの意見をもとに、次回、課題や方針を次回の連絡会で整理する。

※課題と調布の良いところとセットで検討していくことで課題解決に向けたアイディアの幅を広げる目的でこのワークショップ実施した。

### ■全体会に向けたこれからの日程のイメージ

日程	内容
2001年 8月16日(木)	課題抽出ミニワークショップ
2001年 9月19日(水)	課題整理
2001年10月28日(日)	ワークショップ
2001年11月	ワークショップまとめ
2001年12月	考察、提言づくり
2002年 1月	発表内容まとめ
2002年 2月	発表内容決定
2002年 2月23日(土)	全体会

### 3. ワークショップの内容検討

- ・一般の人を含めて広く意見を集めるためのワークショップを10月28日(日)午後に市民センターで実施する。
- ・内容はプロジェクトなどの紹介や(仮定)未来の調布を探るワークショップなど。具体的には次回検討する。

### 4. その他

- ・これまで雨水浸透ます設置の助成は深大寺周辺のみだったが、今年度より国分寺崖線の湧水保全として助成範囲が拡大した。仙川など健全な水循環を回復させるために設置を進めていきたい。(環境保全課より)

### 次回連絡会議の日程

9月19日(水) 18:30~調布市役所(6階第6会議室)  
ミニワークショップの課題整理を行います。たくさんの参加をお待ちしています。

## 絵っせい：窓からの風景

窓からの風景というと、乗り物の窓の外に流れる風景があります。私が小学生低学年だった昭和30年代の前半、母の田舎へ向かう常磐線は電化されておらず、SLしか走っていませんでした。窓の外を次々と変化する眺めは、少年の好奇心を満たすには十分でした。

去年の1月中旬に紀州に犬を買いに行った際、紀勢本線に乗ることができました。これまで、労働組合の会議で色々な場所に行きましたが、こちらの方面は伊勢までしか行ったことがなく、期待して列車に乗り込みましたが、やはり照葉樹林地帯のまっただなかであるだけに、関東地方で見かける風景とは違いました。紀州に近づくと電線に集団でとまっている鳥が目につきました。それは無数のトビでした。東京ではカラスが集団でとまっているのが普通であり、奇異な感じがしました。やはり、生態系の違い、環境の相違があるのでしょうか。東京でカラスが増えたのは、人間の環境への係りかたに問題があるのは事実ですが、紀州ではどうなのでしょう。



台風一過の野川(細田橋より下流 8/25(土))  
草がなぎ倒され、ゴミがたくさん引っかかっているが、久しぶりに川らしい野川をみた。

## 参加しませんか？

### ● 身近な川を見守る会 ～水生生物調査～

日時：9月8日(土) 9:45～

集合場所：御塔坂下児童公園

野川の水生生物調査を2地点(いこいの水辺上流・細田橋下)で実施し、市と環境省に報告します。雨天等で調査ができないときは、調布ヶ丘地域センターで水生生物の学習会を行います。

### ● 入間・樹林の会 ～現地周辺の観察会～

日時：9月30日(日) 9:30～12:00

集合場所：入間地域福祉センター

問合せ：環境保全課

対象樹林地と隣接したNTT樹林地内の観察会を行います。また、その後現地の将来像を考える話し合いを行います。現地だけで将来像を考えるのではなく、周辺の環境とのつながりを含めて考えていきたいと思えます。

### ● 雑木林塾

日時：9月10日(月) 18:30～20:30

場所：市役所 6階 図書室

対象：市域の雑木林の保全活動に興味関心のある方

問合せ：環境保全課

雑木林塾の具体的な取組み(講座の検討など)について意見交換を行います

### ● 環境モニター ～秋の野草調査～

環境モニター活動として秋の野草調査を実施します。対象となる植物は、セイタカアワダチソウ、キツネノカミソリ、ヒガンバナ、ツルボ、その他珍しい秋の野草です。もし、対象植物を発見したら所定の調査票にご記入の上環境保全課まで郵送してください。

環境モニターは様々な調査を通して、市内の自然の現況を把握すると共に、自然と共生する調布を目指して行動していきます。

## その他の情報

### ■ 第9回TAMAとことん討論会

ごみゼロ社会を目指す環境のまち日野

～リサイクルだけでホントにいいの…～

日時：9月22日(土)、23日(日)

会場：日野市民会館及び日野市役所周辺

主催：第9回TAMAとことん討論会実行委員会

参加要項(要申し込み)…×切り9月10日(月)

資料代 2000円(学生1000円、高校生以下無料)

交流会参加費 3000円

見学会参加費 1000円(資料、昼食代他)

お問合せ：日野市 環境共生部 環境保全課

TEL042-585-1111 FAX042-583-4483

### プログラム

9月22日(土) (受付開始 11:30)

12:30 全体会開会・あいさつ

12:45 対談「ごみ改革1年を振り返って」

13:45 発表「環境共生住宅エコヴィレッジ日野」

14:15 講演「まちづくりと市民の役割」

15:15 分科会

18:30 交流会

9月23日(日)

9:30 開会 分科会報告

10:30 パネルディスカッション

「これからの循環型社会を考える」

12:30 閉会

見学会(定員20名)

日野市内に残された里山を巡り農家の手料理を!!

### ■ 庭先の緑化講習会(要申込)

日時：9月26日(水) 13:30～15:30

場所：消費生活センター(世田谷区役所三軒茶屋分庁舎)

講師：多賀 求(世田谷園芸組合)

参加費：賛助会員500円、一般700円

定員：30名(×切り9/14応募者多数の場合は抽選)

問合せ：財せたがやトラスト協会(TEL03-3789-6111)

〒157-0066 世田谷区成城6-2-1

### ■ 11月に実篤公園で自然観察会を行います!

武者小路実篤記念館からの依頼で、実篤公園内で自然観察会を実施する際のノウハウについて相談を受けました。これまで環境保全課がパートナーシップで取り組んできた活動を活かして、市民と記念館と環境保全課と協働で企画していきます。詳細が決まり次第みなさんにお知らせします。

ちょうふ環境市民懇談会は、調布市内の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動を、パートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。様々な環境保全活動にご協力いただけるボランティアを募集しています。

連絡会議へ是非出席してください。

### ● 次回連絡会議 2001年9月19日(水) 市役所6階図書室 18:30～20:30 ●

お問合せ先：調布市環境部環境保全課 小豆畑・倉林 TEL0424-81-7086

発行：ちょうふ環境市民懇談会 E-mail: kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp